

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(93)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(93)—

1. 始めに

前報(92)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、今回からスピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も宗教曲です。

schwann AMS 3544

モーツアルト **Misa Brevis**

Misa Longa

Uwe Gronostay 指揮 RAS Sifonietta Berlin

3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

schwann 盤ということで、TELDEC、逆相、第4時定数Midで聴いていきました。モーツアルトの宗教曲の例にもれず、上記の曲も、合唱陣の協和と美しいオーケストラの旋律を前に、ソリストの歌唱が伸びやかに全面に浮き出てきます。ことにソプラノの透明感のある歌唱が印象的でした。

4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal Eなどの総合的な効果に加えてスピーカーアキュライザーの効果で、上記の盤の特徴が把握できました。

以上